

第34回 岩手県作業療法学会
「コロナ禍に**つながる**」

～当事者と家族のところに寄り添う～

開催期間：令和4年12月3日(土)～24日(土)

学会形式：オンデマンド配信

県学会に
岩手県作業療法学会に

オデッセ
来て下さい

今回の学会演題数は23に
なりました。ご協力有り
難う御座います！

Zoom座談会
参加方法は
後日学会ホーム
ページページにて

①ZOOM座談会 **テーマ「高次脳機能障がい者の当事者や家族のところに寄り添う」**

開催日時 **12月14日(水) 19時～20時半**

「えー!?そんなこと思っていたの・・・!?」

今年でOT24年目を迎える私は先日、とある講座に参加し、当事者の発言に思わず心の中で叫んでしまいました…
現在、私は管理業務に従事し、後輩から治療方針や今後の社会生活等についてお悩み相談を受けることもあります。その内容から本来、大切とする当事者の真の「想い」や「要望・hope」が幾ら聞いてもみえてこず、場当たりの回答でその場を切り抜ける時もある。「中身のないこと言っているなあ。」と時々自己嫌悪に陥ることも…
そこで、同僚の公認心理師に相談し誘われたのが、冒頭のとある講座、「ピアカウンセラー養成講座・高次脳機能サポーター養成講座」。こちらの講座は今回ZOOM座談会に参加するイーハトーヴ代表 堀間幸子氏を中心に当事者、ご家族、支援者で運営されています。正直、はじめは「それよりも著明な先生の講演でも聴いていた方が。」なんてことを心に秘めての参加だったのです(^_^;)
講座の中で当時の想いを聴いた時には「今まで、OTとして何をやってきたんだろう。」という自責の念に駆られそうになりましたが、それ以上に当事者、家族、支援者が様々な困難を抱えつつも乗り越えようとする姿に心から感動したことや、傾聴することの大切さを経験させていただきました。
相手の想いに寄り添う・・・何となくイメージ・実践されている方もいれば臨床現場で困っている方もいると思います。
ZOOM座談会にそのヒントが『**あると思います!**』（天津木村）皆さんのご参加を心からお待ちします。

文責：南昌病院 吉田雄吾

②教育講演 **テーマ「認知症当事者とつながる」～若年性認知症当事者の心を理解する～**

去る10月11日、教育講演に動画撮影の裏方として参加しました。当日は若年性認知症当事者の丹野智文さん、座長に岩手県士会の藤原瀬津雄会長、認知症友の会やボランティア等で日頃から認知症の方々の支援をされている中津川病院の工藤克行さん、シェーンハイムやはばの鈴木栄子さんにご協力をいただき教育講演の撮影を行いました。
若年性認知症当事者である丹野さんからは、ご自身が病気になった経緯やそのなかでの苦悩、それをどのようにして乗り越えてきたかなどのお話を頂きました。丹野さんは現在、認知症の方々の支援団体である「おれんじドア」の代表をしています。
その経験を通じて、認知症の方々をどのように支援していったらいいかを当事者目線でお話しいただいています。丹野さんの講演後に岩手県士会員を代表して、工藤さんと鈴木さんより普段認知症の方々との関わりの中で感じている疑問や苦慮していることなどを質問いただいています。そのやり取りのなかに、OTとしての新たな気づきや認知症当事者の本音が盛り込まれています。まさに今回の教育講演のテーマ通り、当事者のところを理解できる内容となりました。OTの皆様にはぜひとも視聴していただきたいです。
最後に本講演にご協力いただきました丹野さん、藤原会長、工藤さん、鈴木さんの4人方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

岩手県作業療法士会 学術教育局 高橋秀暢



丹野 智文 氏



藤原 瀬津雄会長



工藤 克行氏



鈴木 栄子氏

宮古の方言辞典パート2

ああべえ・・・行こう
こすがかねる・腰が疲れる
いがった・・・良かった
あげえ・・・赤い
おがす・・・育てる 大きくする
あげた・・・顎（あご）
さんぶう・・・寒（さむ）い
あす・・・足（あし）
ぺんこ・・・少し

なんちゃって監修
宮古支部 広報班

特別口演で
福寄屋清太衛門氏による
宮古辯が聞けるよ

③学会参加申込みについて

学会参加申込みは学会ホームページにて実施中 **11月26日まで**
下記に学会参加費について記載

	学会参加費	備考
岩手県士会員	2000円	および県外OT士会員
非会員①	3000円	他職種(PT、ST等)
非会員②	12000円	岩手県士会に未加入の県内OT（入会費込み） ＊別途、入会手続きが必要です。
学生	無料	